漢文「再読文字」識別 100題ドリル

対象：高校生・大学受験生　｜　**著作権**：誰でも古典塾（kotennosennsei.com）　無断転載禁止

はじめに

再読文字は、一つの漢字を一文の中で**二度読む**特別な字です。一度目は副詞として（字の右の送り仮名）、二度目は返り点（レ点や一二点）で返って動詞・助動詞として読みます。覚えるのは次の**7グループ（10字）**だけ。縦書きの漢文を読んで、ア〜エから選びましょう。

文字	一度目 → 二度目	意味
未	いまダ → ず	まだ…ない
将・且	まさニ → ントす	今にも…しようとする
当・応	まさニ → ベシ	当然…すべき／きっと…だろう
須	すべからク → ベシ	ぜひ…する必要がある
宜	よろしク → ベシ	…するのがよい
猶・由	なホ → ごとシ	ちょうど…のようだ
盍	なんゾ → ざル	どうして…しないのか

コツ：「べし」で結ぶ3グループ（当応・須・宜）は、一度目の読み（まさに／すべからく／よろしく）で見分ける。

採点表

部	問題	目標
第1部 基礎	Q1〜Q20	18／20
第2部 標準	Q21〜Q50	24／30
第3部 応用	Q51〜Q80	21／30
第4部 入試	Q81〜Q100	13／20

【第1部】基礎（Q1〜Q20）

意味 **Q1.** **次の漢文の傍線部「未」の意味として正しいものを選べ。**

レ 未知。 ダラ

ア　まだ…ない

イ　今にも…しようとする

ウ　ちょうど…のようだ

エ　ぜひ…する必要がある

▶ 答え：ア　「未」は一度目「いまダ」、二度目「ず」。書き下し「未だ知らず」。「まだ知らない」。

読み方 **Q2.** **傍線部「将」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。**

レ 将行。 ニカ

ア　すべからく

イ　まさに

ウ　よろしく

▶ 答え：イ　「将」は一度目「まさニ」、二度目「(せ)ントす」。書き下し「将に行かんとす」。「今にも行こうとする」。

意味 **Q3.** **次の漢文の傍線部「当」の意味として正しいものを選べ。**

レ 当学。 ニブ

ア　まだ…ない

イ　どうして…しないのか

ウ　当然…すべきだ

エ　ちょうど…のようだ

▶ 答え：ウ　「当」は一度目「まさニ」、二度目「ベシ」。書き下し「当に学ぶべし」。「当然学ぶべきだ」。

読み方 **Q4.** **傍線部「須」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。**

レ 須勉。 ラクム

ア　すべからく

イ　まさに

ウ　なんぞ

▶ 答え：ア　「須」は一度目「すべからク」、二度目「ベシ」。書き下し「須らく勉むべし」。「ぜひ努める必要がある」。

意味 **Q5.** **次の漢文の傍線部「猶」の意味として正しいものを選べ。**

レ 猶夢。 ホノ

ア　ちょうど…のようだ

イ　まだ…ない

ウ　当然…すべきだ

エ　今にも…しようとする

▶ 答え：ア　「猶」は一度目「なホ」、二度目「ごとシ」。書き下し「猶ほ夢のごとし」。「ちょうど夢のようだ」。

読み方 **Q6.** 傍線部「宜」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。

レ 宜従。 シクフ

ア　まさに

イ　すべからく

ウ　よろしく

▶ 答え：**ウ**　「宜」は一度目「よろしク」、二度目「ベシ」。書き下し「宜しく従ふべし」。「従うのがよい」。

意味 **Q7.** 次の漢文の傍線部「盍」の意味として正しいものを選べ。

レ 盍学。 ゾバ

ア　まだ…ない

イ　ちょうど…のようだ

ウ　どうして…しないのか

エ　…するのがよい

▶ 答え：**ウ**　「盍」は一度目「なんゾ」、二度目「ざル」。書き下し「盍ぞ学ばざる」。「どうして学ばないのか」。「盍」は「何不」をまとめた字。

現代語訳 **Q8.** 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

レ 未来。 ダタラ

ア　今にも来ようとしている

イ　まだ来ていない

ウ　来るにちがいない

▶ 答え：**イ**　「未だ来たらず」。「未」は「まだ…ない」。

読み方 **Q9.** **傍線部「未」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。**

レ 未 ダ
成 ラ
。

ア　べし

イ　ごとし

ウ　ず

▶ 答え：**ウ**　「未」の二度目は「ず」。書き下し「未だ成らず」。「まだ完成していない」。

意味 **Q10.** **次の漢文の傍線部「応」の意味として正しいものを選べ。**

レ 応 ニ
知 ル
。

ア　まだ…ない

イ　きっと…だろう

ウ　ぜひ…する必要がある

エ　どうして…しないのか

▶ 答え：**イ**　「応」は一度目「まさニ」、二度目「ベシ」。書き下し「応に知るべし」。「きっと知っているだろう」。

書き下し **Q11.** **次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。**

レ 将死。 ニセ

ア　将に死すべし

イ　将に死せんとす

ウ　将に死なず

▶ 答え：**イ**　「将」は「まさニ…(せ)ントす」。「今にも死のうとする」。

読み方 **Q12.** **傍線部「盍」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。**

レ 盍帰。 ゾラ

ア　まさに

イ　なほ

ウ　なんぞ

▶ 答え：**ウ**　「盍」は一度目「なんゾ」、二度目「ざル」。書き下し「盍ぞ帰らざる」。「どうして帰らないのか」。

意味 **Q13.** **次の漢文の傍線部「須」の意味として正しいものを選べ。**

レ 須待。 ラクツ

ア　ぜひ…する必要がある

イ　…するのがよい

ウ　今にも…しようとする

エ　ちょうど…のようだ

▶ 答え：ア　「須」は「すべからク…ベシ」。書き下し「須らく待つべし」。「ぜひ待つ必要がある」。

現代語訳 **Q14.** 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

宜シク休ムレ。

ア　まだ休んでいない

イ　休むのがよい

ウ　どうして休まないのか

▶ 答え：イ　書き下し「宜しく休むべし」。「宜」は「…するのがよい」。

意味 **Q15.** 次の漢文の傍線部「且」の意味として正しいものを選べ。

且ニ尽キレ。

ア　まだ…ない

イ　当然…すべきだ

ウ　今にも…しようとする

エ　…するのがよい

▶ 答え：ウ　「且」は「将」と同じく「まさニ…ントす」。書き下し「且に尽きんとす」。「今にも尽きようとする」。

読み方 **Q16.** 傍線部「猶」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。

レ 猶水。 ホノ

ア　ごとし

イ　ず

ウ　べし

▶ 答え：ア　「猶」の二度目は「ごとし」。書き下し「猶ほ水のごとし」。「ちょうど水のようだ」。

書き下し **Q17.** 次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

レ 当報。 ニユ

ア　当に報いんとす

イ　当に報ゆべし

ウ　当に報いず

▶ 答え：イ　「当」は「まさニ…ベシ」。書き下し「当に報ゆべし」。「当然恩に報いるべきだ」。

意味 **Q18.** 次の漢文の傍線部「宜」の意味として正しいものを選べ。

レ 宜読。 シクム

ア　ぜひ…する必要がある

イ　…するのがよい

ウ　まだ…ない

エ　どうして…しないのか

▶ 答え：イ　「宜」は「よろしク…ベシ」。書き下し「宜しく読むべし」。「読むのがよい」。

現代語訳 **Q19.** 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

猶子。
レ　ホノ

ア　ちょうど我が子のようだ

イ　まだ子ではない

ウ　子であるべきだ

▶ 答え：ア　「猶ほ子のごとし」。「猶」は「ちょうど…のようだ」。

読み方 **Q20.** 傍線部「当」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。

当守。
レ　ニル

ア　すべからく

イ　まさに

ウ　よろしく

▶ 答え：イ　「当」は一度目「まさニ」、二度目「ベシ」。書き下し「当に守るべし」。「当然守るべきだ」。

意味 **Q21.** 次の漢文の傍線部「未」の意味として正しいものを選べ。

未見。
レ　ダ

ア　まだ…ない

イ　ちょうど…のようだ

ウ　今にも…しようとする

エ　…するのがよい

▶ 答え：ア　書き下し「未だ見ず」。「未」は「まだ…ない」。「まだ見ていない」。

読み方 **Q22.** 傍線部「将」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。

ア　んとす

イ　べし

ウ　ず

▶ 答え：ア　「将」の二度目は「(せ)ントす」。書き下し「将に出でんとす」。「今にも出ようとする」。

書き下し **Q23.** 次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

ア　須らく惜しまんとす

イ　須らく惜しむべし

ウ　須らく惜しまず

▶ 答え：イ　「須」は「すべからク…ベシ」。書き下し「須らく惜しむべし」。「ぜひ惜しむ必要がある」。

意味 **Q24.** 次の漢文の傍線部「応」の意味として正しいものを選べ。

レ 花応開。 ニク

ア　まだ…ない

イ　どうして…しないのか

ウ　ぜひ…する必要がある

エ　きっと…だろう

▶ 答え：**エ**　「応」は「まさニ…ベシ」。書き下し「花応に開くべし」。「花はきっと咲くだろう」。漢文で花が「さく」は「開」で表す（「咲」は漢文では「わらふ」の意味）。

現代語訳 **Q25.** **次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。**

レ 盍行。 ゾハ

ア　どうして行わないのか

イ　まだ行っていない

ウ　ぜひ行う必要がある

▶ 答え：**ア**　「盍ぞ行はざる」。「盍」は「どうして…しないのか」。

読み方 **Q26.** **傍線部「未」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。**

レ 未至。 ダラ

ア　まさに

イ　いまだ

ウ　なほ

▶ 答え：**イ**　「未」は一度目「いまダ」、二度目「ず」。書き下し「未だ至らず」。「まだ到着していない」。

意味 **Q27.** **次の漢文の傍線部「由」の意味として正しいものを選べ。**

レ 由 ホ
水。 ノ

ア　まだ…ない

イ　今にも…しようとする

ウ　ちょうど…のようだ

エ　当然…すべきだ

▶ 答え：**ウ**　「由」は「猶」と同じく「なホ…ごとシ」。書き下し「由ほ水のごとし」。「ちょうど水のようだ」。

書き下し **Q28.** **次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。**

レ 当 ニ
勉。 ム

ア　当に勉むべし

イ　当に勉めんとす

ウ　当に勉めず

▶ 答え：**ア**　「当」は「まさニ…ベシ」。書き下し「当に勉むべし」。「当然努めるべきだ」。

読み方 **Q29.** **傍線部「須」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。**

レ 須慎。 ラクム

ア　んとす

イ　べし

ウ　ごとし

▶ 答え：イ　「須」の二度目は「ベシ」。書き下し「須らく慎むべし」。「ぜひ慎む必要がある」。

意味 **Q30.** 次の漢文の傍線部「将」の意味として正しいものを選べ。

レ 将暮。 ニレ

ア　まだ…ない

イ　今にも…しようとする

ウ　ちょうど…のようだ

エ　ぜひ…する必要がある

▶ 答え：イ　「将」は「まさニ…ントす」。書き下し「将に暮れんとす」。「今にも日が暮れようとする」。

現代語訳 **Q31.** 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

レ 当行。 ニフ

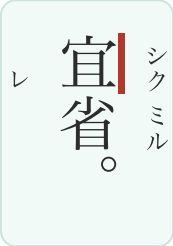
ア　当然行うべきだ

イ　今にも行おうとする

ウ　まだ行っていない

▶ 答え：ア　「当に行ふべし」。「当」は「当然…すべきだ」。

読み方 **Q32.** 傍線部「宜」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。



ア　ず

イ　べし

ウ　んとす

▶ 答え：イ　「宜」の二度目は「ベシ」。書き下し「宜しく省みるべし」。「反省するのがよい」。

意味 **Q33.** 次の漢文の傍線部「未」の意味として正しいものを選べ。

ア　まだ…ない

イ　当然…すべきだ

ウ　どうして…しないのか

エ　ちょうど…のようだ

▶ 答え：ア　「未だ足らず」。「未」は「まだ…ない」。「まだ足りない」。

書き下し **Q34.** 次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

レ 盍言。 ゾハ

ア　盍ぞ言はざる

イ　盍ぞ言ふべし

ウ　盍ぞ言はんとす

▶ 答え：ア　「盍」は「なんゾ…ざル」。「どうして言わないのか」。

意味 **Q35.** 次の漢文の傍線部「宜」の意味として正しいものを選べ。

レ 宜学。 シクブ

ア　まだ…ない

イ　今にも…しようとする

ウ　…するのがよい

エ　きっと…だろう

▶ 答え：ウ　「宜」は「よろしク…ベシ」。書き下し「宜しく学ぶべし」。「学ぶのがよい」。

読み方 **Q36.** 傍線部「応」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。

レ 応至。 ニル

ア　すべからく

イ　なほ

ウ　まさに

▶ 答え：**ウ**　「応」は一度目「まさニ」、二度目「ベシ」。書き下し「応に至るべし」。「きっと至るだろう」。

意味 **Q37.** **次の漢文の傍線部「猶」の意味として正しいものを選べ。**

猶（ホノ）雲（レ）。

ア　ちょうど…のようだ

イ　まだ…ない

ウ　ぜひ…する必要がある

エ　当然…すべきだ

▶ 答え：**ア**　「猶」は「なホ…ごとシ」。書き下し「猶ほ雲のごとし」。「ちょうど雲のようだ」。

現代語訳 **Q38.** **次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。**

須（ラク）努（レ）。

ア　努めるのがよい

イ　ぜひ努める必要がある

ウ　今にも努めようとする

▶ 答え：**イ**　書き下し「須らく努むべし」。「須」は「ぜひ…する必要がある」。「宜（よろしく）」との違いに注意。

読み方 **Q39.** **傍線部「且」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。**

レ 且 ニ
倒。 レ

ア　べし

イ　ざる

ウ　んとす

▶ 答え：**ウ**　「且」の二度目は「(せ)ントす」。書き下し「且に倒れんとす」。「今にも倒れようとする」。

意味 **Q40.** **次の漢文の傍線部「当」の意味として正しいものを選べ。**

レ 当 ニ
慎。 ム

ア　ぜひ…する必要がある

イ　まだ…ない

ウ　ちょうど…のようだ

エ　当然…すべきだ

▶ 答え：**エ**　「当」は「まさニ…ベシ」。書き下し「当に慎むべし」。「当然慎むべきだ」。

書き下し **Q41.** **次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。**

レ 未 ダ
決。 セ

ア　未だ決すべし

イ　未だ決せず

ウ　未だ決せんとす

▶ 答え：イ　「未」は「いまダ…ず」。「まだ決まっていない」。

意味 **Q42.** 次の漢文の傍線部「須」の意味として正しいものを選べ。

レ 須学。 ラクブ

ア　…するのがよい

イ　ぜひ…する必要がある

ウ　まだ…ない

エ　どうして…しないのか

▶ 答え：イ　「須」は「すべからク…ベシ」。書き下し「須らく学ぶべし」。「ぜひ学ぶ必要がある」。

読み方 **Q43.** 傍線部「未」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。

レ 未聞。 ダカ

ア　ず

イ　べし

ウ　んとす

▶ 答え：ア　「未」の二度目は「ず」。書き下し「未だ聞かず」。「まだ聞いていない」。

現代語訳 **Q44.** 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

レ 応憶。 ニフ

ア　まだ思い出していない

イ　きっと思い出すだろう

ウ　思い出すのがよい

▶ 答え：イ　「応に憶ふべし」。「応」は「きっと…だろう」。

意味 **Q45.** **次の漢文の傍線部「盍」の意味として正しいものを選べ。**

レ 盍来。 ゾタラ

ア　どうして…しないのか

イ　まだ…ない

ウ　今にも…しようとする

エ　…するのがよい

▶ 答え：ア　「盍」は「なんゾ…ざル」。書き下し「盍ぞ来たらざる」。「どうして来ないのか」。

読み方 **Q46.** **傍線部「猶」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。**

レ 猶星。 ホノ

ア　なほ

イ　まさに

ウ　なんぞ

▶ 答え：ア　「猶」は一度目「なホ」、二度目「ごとシ」。書き下し「猶ほ星のごとし」。「ちょうど星のようだ」。

書き下し **Q47.** **次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。**

レ 宜勉。 シク ム

ア　宜しく勉めんとす

イ　宜しく勉むべし

ウ　宜しく勉めず

▶ 答え：イ　「宜」は「よろしク…ベシ」。書き下し「宜しく勉むべし」。「努めるのがよい」。

意味 **Q48.** **次の漢文の傍線部「将」の意味として正しいものを選べ。**

レ 将乱。 ニ レ

ア　当然…すべきだ

イ　まだ…ない

ウ　ちょうど…のようだ

エ　今にも…しようとする

▶ 答え：エ　「将」は「まさニ…ントす」。書き下し「将に乱れんとす」。「今にも乱れようとする」。

現代語訳 **Q49.** **次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。**

天未明。
レ　ダケ

ア　まだ夜が明けていない

イ　きっと夜が明けるだろう

ウ　どうして夜が明けないのか

▶ 答え：ア　書き下し「天未だ明けず」。「未」は「まだ…ない」。「天」は空のこと。「まだ夜が明けていない」。

読み方 **Q50.** 傍線部「宜」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。

宜慎。
レ　シク　ム

ア　すべからく

イ　よろしく

ウ　まさに

▶ 答え：イ　「宜」は一度目「よろしク」、二度目「ベシ」。書き下し「宜しく慎むべし」。「慎むのがよい」。

読み方 **Q51.** 傍線部「当」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。

当知。
レ　ニ　ル

ア　んとす

イ　ず

ウ　べし

▶ 答え：**ウ**　「当」の二度目は「ベシ」。書き下し「当に知るべし」。「当然知るべきだ」。

意味 **Q52.** 次の漢文の傍線部「未」の意味として正しいものを選べ。

ア　今にも…しようとする

イ　ちょうど…のようだ

ウ　ぜひ…する必要がある

エ　まだ…ない

▶ 答え：**エ**　「未だ悟らず」。「未」は「まだ…ない」。「まだ悟っていない」。

書き下し **Q53.** 次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

ア　応に来たらず

イ　応に来たるべし

ウ　応に来たらんとす

▶ 答え：**イ**　「応」は「まさニ…ベシ」。「きっと来るだろう」。

意味 **Q54.** 次の漢文の傍線部「猶」の意味として正しいものを選べ。

レ 猶 ホノ 鏡。

ア　まだ…ない

イ　ちょうど…のようだ

ウ　当然…すべきだ

エ　どうして…しないのか

▶ 答え：イ　「猶」は「なホ…ごとシ」。書き下し「猶ほ鏡のごとし」。「ちょうど鏡のようだ」。

読み方 **Q55.** **傍線部「盍」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。**

レ 盍 ゾミ 試。

ア　ざる

イ　べし

ウ　ごとし

▶ 答え：ア　「盍」の二度目は「ざル」。書き下し「盍ぞ試みざる」。「どうして試さないのか」。

現代語訳 **Q56.** **次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。**

レ 将 ニセ 発。

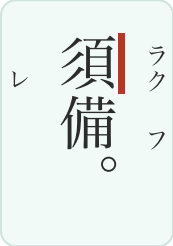
ア　まだ出発していない

イ　今にも出発しようとしている

ウ　当然出発すべきだ

▶ 答え：イ　「将に発せんとす」。「将」は「今にも…しようとする」。

意味 **Q57.** 次の漢文の傍線部「須」の意味として正しいものを選べ。



ア　ぜひ…する必要がある

イ　…するのがよい

ウ　まだ…ない

エ　ちょうど…のようだ

▶ 答え：ア　「須」は「すべからク…ベシ」。書き下し「須らく備ふべし」。「ぜひ備える必要がある」。

書き下し **Q58.** 次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

ア　猶ほ花のごとし

イ　猶ほ花なるべし

ウ　猶ほ花たらんとす

▶ 答え：ア　「猶」は「なホ…ごとシ」。「ちょうど花のようだ」。

読み方 **Q59.** 傍線部「将」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。

レ 将雨。 ニフラ

ア　すべからく

イ　まさに

ウ　なほ

▶ 答え：**イ**　「将」は一度目「まさニ」、二度目「ントす」。書き下し「将に雨ふらんとす」。「今にも雨が降ろうとする」。

意味 **Q60.** **次の漢文の傍線部「当」の意味として正しいものを選べ。**

レ 当励。 ニム

ア　ちょうど…のようだ

イ　まだ…ない

ウ　どうして…しないのか

エ　当然…すべきだ

▶ 答え：**エ**　「当」は「まさニ…ベシ」。書き下し「当に励むべし」。「当然励むべきだ」。

読み方 **Q61.** **傍線部「須」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。**

レ 須省。 ラクミル

ア　すべからく

イ　よろしく

ウ　まさに

▶ 答え：ア　「須」は一度目「すべからク」、二度目「ベシ」。書き下し「須らく省みるべし」。「ぜひ反省する必要がある」。

意味 **Q62.** 次の漢文の傍線部「応」の意味として正しいものを選べ。

レ 応解。 ニス

ア　まだ…ない

イ　きっと…だろう

ウ　ぜひ…する必要がある

エ　今にも…しようとする

▶ 答え：イ　「応」は「まさニ…ベシ」。書き下し「応に解すべし」。「きっと理解するだろう」。

現代語訳 **Q63.** 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

レ 宜励。 シクム

ア　ぜひ励む必要がある

イ　今にも励もうとする

ウ　励むのがよい

▶ 答え：ウ　書き下し「宜しく励むべし」。「宜」は「…するのがよい」。

書き下し **Q64.** 次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

レ 未熟。 ダセ

ア　未だ熟せず

イ　未だ熟すべし

ウ　未だ熟せんとす

▶ 答え：ア　「未」は「いまダ…ず」。「まだ熟していない」。

意味 **Q65.** **次の漢文の傍線部「盍」の意味として正しいものを選べ。**

レ 盍問。 ゾハ

ア　どうして…しないのか

イ　まだ…ない

ウ　当然…すべきだ

エ　ちょうど…のようだ

▶ 答え：ア　「盍」は「なんゾ…ざル」。書き下し「盍ぞ問はざる」。「どうして問わないのか」。

読み方 **Q66.** **傍線部「猶」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。**

レ 猶月。 ホノ

ア　べし

イ　ず

ウ　ごとし

▶ 答え：ウ　「猶」の二度目は「ごとシ」。書き下し「猶ほ月のごとし」。「ちょうど月のようだ」。

意味 **Q67.** 次の漢文の傍線部「将」の意味として正しいものを選べ。

ア　まだ…ない

イ　ぜひ…する必要がある

ウ　今にも…しようとする

エ　ちょうど…のようだ

▶ 答え：ウ　「将」は「まさニ…ントす」。書き下し「将に尽きんとす」。「今にも尽きようとする」。

書き下し **Q68.** 次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

ア　須らく勤めんとす

イ　須らく勤むべし

ウ　須らく勤めず

▶ 答え：イ　「須」は「すべからク…ベシ」。書き下し「須らく勤むべし」。「ぜひ勤める必要がある」。

現代語訳 **Q69.** 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

レ 当謝。 ニス

ア　まだ謝罪していない

イ　今にも謝罪しようとする

ウ　当然謝罪すべきだ

▶ 答え：ウ　書き下し「当に謝すべし」。「当」は「当然…すべきだ」。

意味 **Q70.** 次の漢文の傍線部「未」の意味として正しいものを選べ。

レ 未帰。 ダラ

ア　今にも…しようとする

イ　まだ…ない

ウ　…するのがよい

エ　どうして…しないのか

▶ 答え：イ　「未だ帰らず」。「未」は「まだ…ない」。「まだ帰っていない」。

読み方 **Q71.** 傍線部「応」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。

レ 応悔。 ニュ

ア　んとす

イ　べし

ウ　ごとし

▶ 答え：**イ**　「応」の二度目は「ベシ」。書き下し「応に悔ゆべし」。「きっと後悔するだろう」。

意味 **Q72.** **次の漢文の傍線部「宜」の意味として正しいものを選べ。**

ア　ぜひ…する必要がある

イ　今にも…しようとする

ウ　まだ…ない

エ　…するのがよい

▶ 答え：**エ**　「宜」は「よろしク…ベシ」。書き下し「宜しく退くべし」。「退くのがよい」。

書き下し **Q73.** **次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。**

ア　将に崩れんとす

イ　将に崩るべし

ウ　将に崩れず

▶ 答え：**ア**　「将」は「まさニ…ントす」。「今にも崩れようとする」。

現代語訳 **Q74.** **次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。**

レ 由影。 ホノ

ア　まだ影ではない

イ　ちょうど影のようだ

ウ　影であるべきだ

▶ 答え：イ　「由ほ影のごとし」。「由」は「猶」と同じく「ちょうど…のようだ」。

意味 **Q75.** **次の漢文の傍線部「須」の意味として正しいものを選べ。**

レ 須謹。 ラクム

ア　…するのがよい

イ　ちょうど…のようだ

ウ　ぜひ…する必要がある

エ　まだ…ない

▶ 答え：ウ　「須」は「すべからク…ベシ」。書き下し「須らく謹むべし」。「ぜひ謹む必要がある」。

読み方 **Q76.** **傍線部「未」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。**

レ 未果。 ダタサ

ア　いまだ

イ　まさに

ウ　よろしく

▶ 答え：ア　「未」は一度目「いまダ」、二度目「ず」。書き下し「未だ果たさず」。「まだ果たしていない」。

意味 **Q77.** 次の漢文の傍線部「当」の意味として正しいものを選べ。

ア　当然…すべきだ

イ　今にも…しようとする

ウ　まだ…ない

エ　ちょうど…のようだ

▶ 答え：ア　「当」は「まさニ…ベシ」。書き下し「当に恥づべし」。「当然恥じるべきだ」。

書き下し **Q78.** 次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

ア　宜しく避けんとす

イ　宜しく避けず

ウ　宜しく避くべし

▶ 答え：ウ　「宜」は「よろしク…ベシ」。「避けるのがよい」。

現代語訳 **Q79.** 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

レ 盍改。 ゾメ

ア　どうして改めないのか

イ　まだ改めていない

ウ　改めるのがよい

▶ 答え：ア　「盍ぞ改めざる」。「盍」は「どうして…しないのか」。

意味 **Q80.** **次の漢文の傍線部「猶」の意味として正しいものを選べ。**

レ 猶火。 ホノ

ア　まだ…ない

イ　ぜひ…する必要がある

ウ　今にも…しようとする

エ　ちょうど…のようだ

▶ 答え：エ　「猶」は「なホ…ごとシ」。書き下し「猶ほ火のごとし」。「ちょうど火のようだ」。

現代語訳 **Q81.** **次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。**

二 未嘗敗。 ダテレ 一

ア　今にも負けようとしている

イ　負けるにちがいない

ウ　今まで一度も負けたことがない

▶ 答え：ウ　書き下し「未だ嘗て敗れず」。「未だ嘗て…ず」で「今まで一度も…ない」。最頻出。「未」は「嘗」をはさんで「敗」から返るので一二点。

意味 **Q82.** 次の漢文の傍線部「将」の意味として正しいものを選べ。

鳥将死。
レ　ニ　セ

ア　まだ…ない

イ　今にも…しようとする

ウ　当然…すべきだ

エ　ちょうど…のようだ

▶ 答え：イ　「鳥将に死せんとす」。「将」は「今にも…しようとする」。

読み方 **Q83.** 傍線部「当」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。

当雪恥。
レ　ニ　グ　ヲ
レ

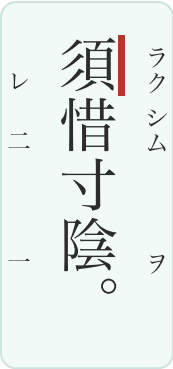
ア　すべからく

イ　まさに

ウ　よろしく

▶ 答え：イ　「当」は一度目「まさニ」、二度目「ベシ」。書き下し「当に恥を雪ぐべし」。「当然恥をすすぐべきだ」。

書き下し **Q84.** 次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。



ア　須らく寸陰を惜しまんとす

イ　須らく寸陰を惜しまず

ウ　須らく寸陰を惜しむべし

▶ 答え：ウ　「須」は「すべからク…ベシ」。書き下し「須らく寸陰を惜しむべし」。「ぜひわずかな時間も惜しむ必要がある」。「寸陰」はほんの少しの時間。

意味 **Q85.** 次の漢文の傍線部「猶」の意味として正しいものを選べ。

ア　ちょうど…のようだ

イ　まだ…ない

ウ　当然…すべきだ

エ　どうして…しないのか

▶ 答え：ア　書き下し「過ぎたるは猶ほ及ばざるがごとし」(『論語』)。「猶」は「ちょうど…のようだ」。やり過ぎは足りないのと同じ、の意。

現代語訳 **Q86.** 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

ア　まだ気の毒に思っていない

イ　きっと気の毒に思うだろう

ウ　気の毒に思うのがよい

▶ 答え：イ　「応に憐むべし」。「応」は「きっと…だろう」。

読み方 **Q87.** **傍線部「盍」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。**

ア　まさに

イ　なほ

ウ　なんぞ

▶ 答え：ウ　「盍」は一度目「なんゾ」、二度目「ざル」。書き下し「盍ぞ反りて求めざる」。「どうして反省して求めないのか」。

書き下し **Q88.** **次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。**

ア　当に身を立つべし

イ　当に身を立てんとす

ウ　当に身を立てず

▶ 答え：ア　「当」は「まさニ…ベシ」。書き下し「当に身を立つべし」。「当然身を立てるべきだ」。

意味 **Q89.** **次の漢文の傍線部「未」の意味として正しいものを選べ。**

未知生。（レ レ ダ ラ ヲ）

ア　まだ…ない

イ　今にも…しようとする

ウ　ちょうど…のようだ

エ　ぜひ…する必要がある

▶ 答え：ア　書き下し「未だ生を知らず」(『論語』)。「未」は「まだ…ない」。「まだ生を知らない」。

現代語訳 **Q90.** **次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。**

宜従衆。（レ レ シク フ ニ）

ア　ぜひみなに従う必要がある

イ　今にもみなに従おうとする

ウ　みなに従うのがよい

▶ 答え：ウ　書き下し「宜しく衆に従ふべし」。「宜」は「…するのがよい」。

読み方 **Q91.** **傍線部「将」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。**

国将亡。
レ　ニ　ビ

ア　んとす

イ　べし

ウ　ず

▶ 答え：ア　「将」の二度目は「(せ)ントす」。書き下し「国将に亡びんとす」。「国が今にも滅びようとする」。

意味 **Q92.** **次の漢文の傍線部「須」の意味として正しいものを選べ。**

人須立志。
レ　ラク　レ　ツ　ヲ

ア　…するのがよい

イ　まだ…ない

ウ　ちょうど…のようだ

エ　ぜひ…する必要がある

▶ 答え：エ　書き下し「人須らく志を立つべし」。「須」は「ぜひ…する必要がある」。「人はぜひ志を立てる必要がある」。

書き下し **Q93.** **次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。**

猶父子。

ホノ　二一

ア　猶ほ父子なるべし

イ　猶ほ父子たらんとす

ウ　猶ほ父子のごとし

▶ 答え：ウ　「猶」は「なホ…ごとシ」。書き下し「猶ほ父子のごとし」。「ちょうど父と子のようだ」。

現代語訳 **Q94.** **次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。**

未聞道。

ダカヲ　レレ

ア　まだ道を聞いていない

イ　今にも道を聞こうとする

ウ　きっと道を聞くだろう

▶ 答え：ア　書き下し「未だ道を聞かず」。「未」は「まだ…ない」。

意味 **Q95.** **次の漢文の傍線部「当」の意味として正しいものを選べ。**

当報国。

ニユニ　レレ

ア　今にも…しようとする

イ　まだ…ない

ウ　当然…すべきだ

エ　ちょうど…のようだ

▶ 答え：**ウ**　書き下し「当に国に報ゆべし」。「当」は「当然…すべきだ」。「当然国に恩返しをすべきだ」。

読み方 **Q96.** **傍線部「猶」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。**

猶魚得水。
ホ ノ ル ガ ヲ
二 一 レ

ア　まさに

イ　なんぞ

ウ　なほ

▶ 答え：**ウ**　「猶」は一度目「なホ」、二度目「ごとシ」。書き下し「猶ほ魚の水を得るがごとし」。「ちょうど魚が水を得たようだ」。

書き下し **Q97.** **次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。**

盍各言爾志。
ゾ ハ ノ ヲ
三 二 一

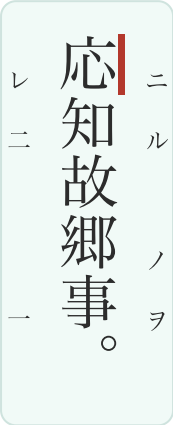
ア　盍ぞ各爾の志を言はざる

イ　盍ぞ各爾の志を言ふべし

ウ　盍ぞ各爾の志を言はんとす

▶ 答え：ア　「盍」は「なんゾ…ざル」。書き下し「盍ぞ各爾の志を言はざる」(『論語』)。「どうしてそれぞれ自分の志を言わないのか（言ってみてはどうか)」。「各」は「おのおの」と読む。

意味 **Q98.** **次の漢文の傍線部「応」の意味として正しいものを選べ。**



ア　まだ…ない

イ　きっと…だろう

ウ　ぜひ…する必要がある

エ　どうして…しないのか

▶ 答え：イ　書き下し「応に故郷の事を知るべし」。「応」は「きっと…だろう」。「(故郷から来たあなたは)きっと故郷のことを知っているだろう」。王維「雑詩」の一句。

現代語訳 **Q99.** **次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。**

ア　まだ傾いていない

イ　当然傾くべきだ

ウ　今にも傾こうとしている

▶ 答え：ウ　「将に傾かんとす」。「将」は「今にも…しようとする」。

書き下し **Q100.** 次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

ア　未だ半ばに至らず

イ　未だ半ばに至るべし

ウ　未だ半ばに至らんとす

▶ 答え：**ア**　「未」は「いまダ…ず」。書き下し「未だ半ばに至らず」。「まだ半分にも達していない」。

採点と振り返り

部	問題数	あなたの正答数
第1部 基礎	20	／20
第2部 標準	30	／30
第3部 応用	30	／30
第4部 入試	20	／20
合計	**100**	**／100**

まちがえた問題は、次の2点にもどって確認しましょう。

1. **一度目と二度目の読みをセットで覚える。** 未（いまだ→ず）／将・且（まさに→んとす）／当・応（まさに→べし）／須（すべからく→べし）／宜（よろしく→べし）／猶・由（なほ→ごとし）／盍（なんぞ→ざる）。
2. **「べし」で結ぶ3グループ（当応・須・宜）は、一度目の読みで見分ける。** まさに＝当応、すべからく＝須、よろしく＝宜。

© 個別指導塾フィット / 中本裕太　https://kotennosennsei.com